



ハビこまちん®

# 農業ニュース

# やしお

第 47 号

●●編集・発行●●

市民活力推進部都市農業課

(八潮市農業委員会事務局)

八潮市中央一丁目2番地1

TEL 048(996)2111(内線299)

http://www.city.yashio.lg.jp/

E-mail :agri@city.yashio.lg.jp

## 特集 農業委員会制度が変わりました(1・2面・掲載)

### 親子で農業体験事業

平成28年7月18日(土) 収穫



平成28年5月14日(土) 種蒔き



— 農業者の指導により、駅周辺の農地で、小松菜や枝豆の種蒔きから収穫までを親子で体験 —  
今年初めて行われた「農業体験」は、親子10組、23人により、5月14日(土)の種蒔きからはじまり、農地の管理や収穫を行いました。

この農業体験を機に、市民等が農業に触れて、都市農業を理解し、市街地と農地の共存を図って、新たな都市農業の在り方を探る機会となることを目指します。

### 目次

農業委員会制度が変わりました

P1, 2

あいさつ

P3~6

中川農地出し手・受け手利用集積

円滑化事業

P7

八潮市都市農業振興事業補助金

制度

P8

農産物放射能濃度測定結果

P9

各種事業募集

P10

農家戸数及び農地に関する申告

状況一覧表

P11

## 第42回農業祭 を開催いたします!

平成28年度第1回農業祭実行委員会(平成28年8月26日)において、第42回農業祭を「やしお生涯学習館」、「みどりの広場」で(品評会・12月3日(土) 農業祭・4日(日))開催することが決定しました。

農業祭(品評会)での栄誉を讃える知事賞や市長賞等の表彰式についても、平成29年1月11日(水)に開催が決められました。農業祭に向け、農業関係者の方々を始め、関係団体の皆様のご協力とご支援をよろしくお願いいたします。





# 変わりました ~

## 制度改正のポイント

### 1 農業委員の選出方法が変わります

#### 〈構成〉

#### 【現在】

##### 選挙委員

公職選挙法を準用した選挙で選ばれる委員  
八潮市農業委員会委員の選挙による委員の定数条例 定数 10 人

##### 選任委員

農業協同組合等や市町村議会が推薦し、市町村長が選任した委員  
議会推薦 4 人  
農業協同組合、農業共済組合、土地改良区 3 人



#### 【法改正後】

- 市町村議会の同意を要件とする、**市町村の任命制**一本とする。
- 過半を、原則として認定農業者とする。
- 農業者以外の者で、中立な立場で公正な判断をすることができる者を 1 人以上入れる。
- 女性・青年も積極的に登用する。
- 農業委員の定数は、委員会を機動的に開催できるよう、現行の半分程度とする。(農地利用最適化推進委員を置かないところ(八潮市該当)を除く。)

\*現委員の任期が満了するまでは、現在の構成が継続されます。

農業委員会は、「農業委員会に関する法律」に基づいて市町村に設置された行政委員会  
で、農地法に基づく許可等の行政事務を、市町村から独立して行っている組織であり、原  
則、年に 12 回、農業委員会を開催しています。

「農業委員会等に関する法律」は、昭和 26 年に制定された法律です。平成 27 年度に農地利用の最  
適化の推進、耕作放棄地の発生防止・解消・担い手への農地利用の集積・集約化、新規参入の促進の  
ため、「農地法」及び「農業協同組合法」とともに、大幅な改正が行われ、平成 28 年 4 月 1 日に施行  
されました。

ポイント!

#### 〈選出方法〉

市長は、推薦・公募を実施  
↓  
市長は、推薦・公募の情報を整理し、公表  
↓  
市長は、推薦・公募の結果を尊重して、選任議案を作成  
↓  
市議会が同意  
↓  
市長が任命



八潮市は...  
区域内の農地が 123ha  
であるため、過半要件の  
例外に該当します。

本市において、推進員を委嘱しない  
場合の定数上限は、27 人となりま  
すが、近年、市内の農家戸数、農地  
面積も減少していることから、推進  
委員を委嘱する農業委員会と同程度  
(15 人前後)の定数が妥当と考えて  
います。



#### 〈認定農業者の過半要件の例外〉

ポイント!

- 【原則】 過半を、原則として認定農業者とする。
- 【例外】 農業委員会の設置が義務付けされていない市町村  
(区域内の農地面積が都府県 200ha、北海道 800ha を超  
えない市町村)

# 特集 ～ 農業委員会制度が

## 制度改正のポイント

### 2 農地利用最適化推進委員の新設

#### ◆改革の方向

- ・現場活動を積極的に行うため、主に合議体としての意思決定を行う農業委員とは別に、原則として、農地利用最適化推進委員を設置。
- ・推進委員は、自らの担当区域において、担い手への農地利用の集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消等の地域における現場活動を行う。
- ・推進委員の定数は、政令で定める基準に従い条例で定める。

#### ◆具体的業務

- ・人・農地プランなど、地域の農業者等の話し合いを推進。
- ・農地の出し手・受け手へのアプローチを行い、農地利用の集積・集約化を推進。
- ・耕作放棄地の発生防止と解消を推進。

#### ◆選出方法

農業委員会は、農業委員会が定める区域ごとに推薦・公募を実施  
↓  
農業委員会は、推薦・公募の情報を整理し、公表  
↓  
農業委員会は、推薦・公募の結果を尊重  
↓  
農業委員会が委嘱

現在の八潮市農業委員会は 17 人（選挙委員 10 人、議会推薦 4 人、農協・農業共済・土地改良区推薦、計 3 人）、任期は平成 26 年 8 月 24 日～平成 29 年 8 月 23 日までとなっていますが、新法は、次回の改選から適用されます。



八潮市は...  
区域内の農地が123haであるため、委嘱しないことができる市に該当します。



#### ◆八潮市は推進委員を委嘱しないことができる市に該当

- 【原則】農業委員会区域内の農地面積 100ha に一人の割合で配置できる。
- 【例外】農業委員会の設置が義務付けされていない市町村

## 制度改正のポイント

### 3 「農地等の利用の最適化の推進」の強化

農業委員会は許認可だけでなく、担い手への農地利用の集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入の促進に積極的に取り組んでいくべきことが制度的により強固に位置付けられました。

本市の場合、推進委員を設置できるのは 2 名のみであり、市内全域での活動を行うことは、困難であることから、推進委員は設置しません。



## 制度改正のポイント

### 4 農業委員会活動の「見える化」をさらに進めます

農業委員会の活動状況は、全国農業会議所のホームページに「活動整理カード」として公表されています。法改正により、農地等の利用の最適化の推進など農業委員会活動をインターネットなどで公表することが義務付けられます。





ハピーごまちゃん

### 直売所連絡協議会

#### 「初荷パレードで直売所PR」

会長 星野 仁

ふれあい農産物直売所の開店初日の「初荷」を祝う「初荷パレード」を1月7日（木）に実施しました。今回初めての試みであったので、パレードの日まで試行錯誤の連続でした。トラックに野菜を満載にした宝舟を乗せて、市内をパレードして、八潮市長や商工会長からは、新年のご挨拶をいただいで、ふれあい農産物直売所に戻るコースでしたが、これでやしおの八つの野菜のPR、安全安心な野菜を、市民の皆さんに宣伝できたのではないかと考えています。

パレードを実施して、報道機関にこれほど取り上げていただけたとは想像以上であったため、会員はとも驚いていました。これからも、毎年市民の皆さんにPRをしていきたいと思えます。

また、多くの市民の皆さんに、「ふれあい農産物直売所」及び「やしおの八つの野菜」を覚えていただきたいと思っています。

来年の事を言うのは早いかもしれませんが、来年は市役所をお願いし

て、ロビーをお借りし、御用始めから2日間位、小型の宝舟を飾り、市民の皆さんに地産地消をPRする企画を実施したいと考えております。



平成28年1月7日(木)  
初荷パレードの様子

### 園芸協会

#### 都市農業の発展を推進して

会長 福岡 達則

八潮市園芸協会は、現在、会員61名です。専門研究部会の中で、「経営研究・生産研究・流通研究」と分かれ、それぞれ活動しています。

主な活動内容は、生産研究においては、春夏2回の立毛共進会と小松菜種子共同購入等の事業です。

今年、7月5日（火）に実施した立毛共進会においては、夏野菜の枝豆や小松菜、ねぎの出品がありました。

流通研究においては、7月16日（土）に、「第8回夏野菜旬採り合戦」を開催し、親子25組（大人37名・子供33名）の多くの方々の参加をいただき、大変盛況でした。毎年、申込み者数が定員オーバーになり、大変好評なため、このような収穫の喜びを体験することは、都市型観光農園事業の一環として欠かせないものではないかと思えます。

また、市民とのふれあい、交流を通して、農業のおもしろさ、すばらしさを知ってもらうことが重要であるのではないかと考えております。

八潮市も都市化が進み、農業経営

も変わってきていますが、東京市場に隣接した立地環境を活かし、付加価値の高い農業経営を積極的に推進することが必要かと思えます。今後とも、八潮市の農業振興のため、会員の皆様のご協力をいただきながら、都市農業の発展を推進してまいりたいと思えます。

平成28年7月18日(土)  
第8回夏野菜旬採り合戦



青 耕 会

青耕会会長就任にあたり

会長 三ヶ島 幸生

今年度から、八潮市青耕会会長の  
大役を仰せつかりました。どうぞよ  
ろしくお願いいたします。

まずは就任にあたり、白倉明久前  
会長には、2年間青耕会を引っ張っ  
ていただきまして、有難うございま  
した。本当にお疲れ様でした。

今春には、青耕会の新たな取り組  
みとして、八潮市商工会青年部主催  
で、「ふるさと体験教室」と題した、  
市内小学生と保護者の方々を対象の  
田植え体験に技術協力をしました。  
食育と郷土愛を共に培っていくこと  
を目標に行いましたが、当日は子ど  
も達のたくさん笑顔が溢れるイベ  
ントになったと思います。

今後も農商工連携を軸に企画して  
まいりますので、市民の皆様には引  
き続きご理解、ご協力をいただけま  
すよう努力して参りたいと思いま  
す。八潮市青耕会は、本年度で五十周  
年の節目を迎えます。会員の皆様  
は、何卒お力添えくださいますよう  
お願い申し上げます。



農業を取り巻く情勢が変わって  
いく中で

副会長 恩田 圭幸

青耕会副会長2期目を務めさせ  
ていただきます。引き続きよろし  
くお願いいたします。

日頃より会員の皆様、OBの皆様  
をはじめ、JAさいかつ、都市農業  
課、春日部農林振興センター、ま  
た、市内農家の皆様方におかれま  
しては多大なるご協力を賜り誠に  
ありがとうございます。今後とも  
ご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い  
申し上げます。

さて私が思う青耕会は、農業を  
取り巻く情勢が日々変化していく  
中、若手農業者自らが、未来の農  
業をどうしたいのか？という方  
向に進むべきなのか？を考え、討  
論する場

のスター  
ト地点と  
してこの  
青耕会が  
あるもの  
と思いま  
す。

勿論

地域の皆  
様の理解



平成28年5月21日(土)  
農業体験(田植え)

\*収穫した米(72kg)は、市立保育所に配り、園児の皆さんに食べていただきました。



なくして農業の継続は困難であり、  
農業の安定化につなげるためにも、  
いかにその地域に貢献できるかが課  
題と捉え、日々活動しなければいけ  
ないものと考えております。

若いうちは作るのが精一杯。3年  
後、5年後のことも、なかなか考え  
ている余裕がない。だからこそ、青  
耕会内で情報を共有し、事業をみん  
なで取り組み、そして仲間を作り、  
青耕会を盛り上げて八潮市の農業・  
商業・工業の活性化に繋げて行く事  
が大切です。

まずは、個々の経営基盤を確立し、  
新規会員の皆さんに「入ってよかつ  
たな」と思ってもらえる青耕会にし  
ていきたい。それが八潮市の農業に  
大きな活力を与える近道だと思っ  
ております。

青耕会活動で八潮を盛り上げよう

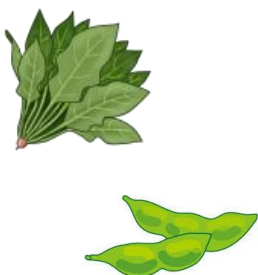
副会長 石井 純一

今年度より、八潮市青耕会の副会  
長に就任しました。どうぞよろしく  
お願いいたします。

私は、八潮市青耕会で活動するよ  
うになって14年目となりました。会  
員の皆様や市内農家の方々のご指導  
等をいただきながら、しっかりと務  
めていきたいと思えます。

八潮市青耕会では、活動の一つと  
して、幼稚園、保育所を中心に食育  
活動を実施しております。小松菜に  
ついての説明や、プランターでの播  
種作業、収穫、試食までを行います  
が、幼少期は心身だけでなく、味覚  
が著しく成長する時期です。この活  
動を通じて、もつと子ども達が農業  
に興味を持ってくれればいいと思  
います。

その他にも、八潮市の多くの団体  
と交流も増やして、市全体を盛り上  
げていければと思います。







八潮市地産地消拡大支援協議会

料理レシピコンテスト

会長 清水 達夫

今回は「料理のレシピについて」ということで原稿の依頼をされました。はじめに、断っておきたいのですが、私は蕎麦は打つが料理はできません。それをご承知のうえで、読んでいただきたいと思えます。

ご存知のように、八潮市には、八潮の名にちなんだ「八つの野菜」があります。それを材料に農商工連携事業の一つに「やしお八つのハッピー野菜博覧会（はぴべじ博）」があります。市内の企画店が毎年新メニューを考案し、それを覆面調査員が審査して、上位の店を表彰するというものです。新メニュー考案のためには、勉強会や試作、野菜を理解することなど大変苦労があると思われれます。そして、お客様におもてなしの気持ちで接し、地元野菜のおいしさを伝えます。次に「また食べたい」と思ってもらえるように。

しかし、まだ市民への浸透が足りない印象です。我々農業者からも良い提案ができればと思います。その「はぴべじ博」で、平成24年度

に一度きりでしたが一般向け対象の「はぴべじ料理レシピコンテスト」がありました。応募点数は41点で、市内の他、東京都、三郷市、草加市と、幅広い地域からの応募がありました。審査は、見栄え、テーマ性、アイデア、手軽さの四つの視点から専門家の先生が採点、使われた野菜は枝豆、小松菜が多く、茄子、ねぎ、ほうれんそう、トマトが続きました。おなじみな野菜なので、新しいレシピには多くのアイデアが見られました。井物や副菜、スープ、

サラダ、酒のつまみと、細かくきざんであえるような簡単なものから下ごしらえをしつかりして調理するものまで色々です。そして気づいたのですが、野菜メインの料理はバランスが良いということです。栄養面、彩り、食感、おいしさと飽きのこない料理となります。子供から年配の方まで、安心して食べられるのが、野菜をメインに考えた料理になるのではないのでしょうか。八つもある野菜を使ったメニューは、無限大だと思われれます。是非、新メニューを考えてはどうでしょうか。

追伸、ヒットする料理レシピは、また別な気がします。肉巻おにぎりなど、これもまた美味しいのですが。

「やしおの八つの野菜」FG袋の版下を作成しました

「八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略」推進のため、八潮の八つの野菜のブランド化やイメージアップを図り、地産地消や新たな販路の開拓を目的に、市内で生産量が最も多く、ハッピーこまちゃんのモチーフとなった小松菜のFG袋（八つの野菜キャラクター等及び八潮市産野菜の文字を印字）の版下を作成しました。

**使用できる農業者**：認定農業者またはエコファーマーを取得している農業者に限り、市に使用申請書を提出し、認定された方を対象に、版下を使用することができます。

（\*FG袋の作成費用は、農業者の負担となります。）



「FG袋」 表 (左)、裏 (右)

農地の相続等の届出のお願い

農地法の改正により、農地を相続した時は、農業委員会に届出を行うことが義務付けられました。

相続をした方が地元を離れていて自分では手入れができない場合など、農地の管理についてのご相談や、借り手を探すなどのお手伝いをします。

農地を相続したんだけどどうしたらいいの？

お問い合わせ 農業委員会



春日部農林振興センター

八潮市都市農業の発展のため

南部地域担当部長

松本 明夫

今年4月から春日部農林振興センター農業支援部 技術普及担当 南部地域担当部長に就任いたしました。日頃から、当センターが進める普及活動の推進に格別の御支援と御協力をいただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。

春日部農林振興センターは、私の最初の赴任地で、昭和の終わりの駆け出しのころ、当時の春日部農業改良普及所で南部地域課を担当させて頂きました。現在の南部地域担当は、八潮市をはじめ越谷市、三郷市、吉川市、松伏町の5市町ですが、当時は八潮と三郷の2市で、当時も都市化のなかでどのように農業の大切さをアピールしながら、いかに農業を守っていくかがよく課題になっていたかと思っております。今春就任し、久しぶりに本市を訪れた際には、つくばエクスペラスも開通し、大きく様変わりした風景に驚かされ、また、農家の高齢化等で低生産性農地が増加傾向にあるとの問題なども耳にしまし

た。

しかし、八潮市青耕会など依然として若い農業者が多く活躍されている様子や、都市化や環境の変化をプラスに転じるための取り組みが、農家、市、関係団体の皆さんにより色々と努力されていることを知り大変敬服いたしました。特に、「八潮市都市農業振興基本計画」は、全国にも先駆けたプランと伺っており素晴らしいものと存じます。

近年、都市における農業の多面的な機能は改めて見直されております。都市部における農業は、生産環境や農政、税制など様々な制約がまだまだ多くありますが、本市において脈々と営まれてきた都市型農業の発展のため、皆様とともに取り組んでまいりたいと思っておりますので、どうぞよろしく願います。

都市農業のさまざまなはたらき

- まちなみを良くするはたらき**  
まちなみづくりの重要な役割を担っています。都市景観の向上や防災機能の向上に貢献しています。
- 交流を生むはたらき**  
都市と農村の交流を促進し、都市住民の食育や環境意識の向上に貢献しています。
- 食を学ぶはたらき**  
食育や食文化の普及に貢献し、都市住民の食生活の改善に貢献しています。
- 地域の食料をつくるはたらき**  
地域の食料生産を促進し、食料自給率の向上に貢献しています。
- 環境を守るはたらき**  
都市部の環境改善に貢献し、都市住民の生活環境の向上に貢献しています。
- 防災に役立つはたらき**  
都市部の防災機能の向上に貢献し、都市住民の安全確保に貢献しています。

J A さいかつ

農産物移動販売車『青空市』

J A さいかつでは、平成28年度から「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つの基本目標を達成するため、担い手経営体のニーズに応える対応や消費者が必要とする農産物の提供など、新たな生産・販売の拡大に向け取り組んでおります。

さいかつ農協 青空市  
新鮮地元野菜 お届けします。

直売所では、八潮市・三郷市・吉川市・松伏町の3市1町の生産者の方々がそれぞれ特色ある農産物直売所を目指し、地域の新鮮で安全・安心な四季折々の旬の農産物を消費者の方々へ提供している中、さらに多くの方々へ直売所に来店して頂きたいとの思いから、利用者動向を検証した結果、買い物移動距離15分圏内のお客様が非常に多く見られました。



題に上がっていましたので、今年のはじめより各自治会等を通じ、また、J A さいかつ広報誌の読者コメント欄において「近くに直売所が出来れば」との声がある中で、自慢の地場産農産物を望む消費者がいる事を念頭に置き、地域活性・貢献の一つとして位置づけ、地域の隅々まで提供するための、周知方法を各自治

『青空市』をスタートしました。実際、移動販売先ではお客様からの反応も良いのですが、問題や改善点も多々ありますので、地域の皆様の声を活かしながら、生産者と共に地域に根差した移動販売車『青空市』として皆様の期待にお応えできるよう取り組んでまいります。

会や協力組織と協議を重ねながら、生産者の方々のご協力をお願いいたします。4月より移動販売車



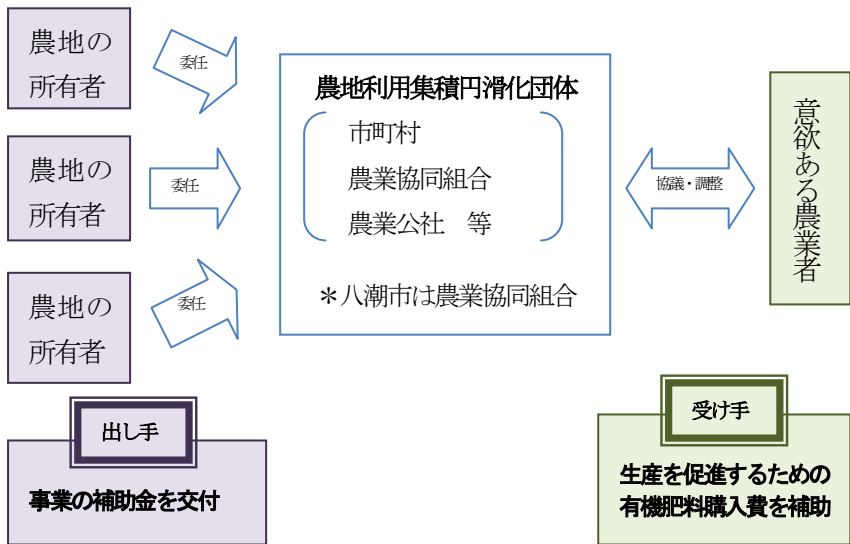
## 中川農地出し手・受け手利用集積円滑化事業について

「八潮市まち・ひと・しごと創生総合戦略」における施策、経営体支援事業に基づき、中川周辺農地における農業経営の安定化を図るため、分散した農地や遊休農地を活用した農地の集約利用を促進する事業です。

### 概要

**農地利用集積円滑化事業**（農地等の効率的な利用に向け、その集積を促進するため、平成21年12月に施行された改正農地法により創設（農業経営基盤強化促進法に措置）された事業）で、その内、**農地所有者代理事業**（農地等の所有者の委任を受けて、その者を代理して農地等について売渡し、貸付け又は農業の経営若しくは農作業の委託を行なう事業）を活用した農地の出し手・受け手について、補助をします。

### 仕組み



中川周辺農地として定められた区域内の農地所有者で、農地利用集積円滑化事業において出し手となった者へ農地面積1㎡あたり12円を予算の範囲内で補助金を交付。

**出し手**

**受け手**

対象となる農地を有機栽培に適した農地とするために購入する肥料に対し、事業の総額が20,000円以上であって、補助限度額を1㎡100円以下、補助率2分の1で、年に1度3回を限度として補助金を交付。

**受け手**  
生産を促進するための有機肥料購入費を補助

# 遊休農地をなくそう！

## 農地の適正利用と有効活用は土地所有者の責務です。



遊休農地は、農業者の高齢化・担い手不足などに伴い年々増加する傾向にあります。農地として適切に管理されていないと、雑草や病害虫の発生により周辺農地に悪影響を与えるだけでなく、火災や防犯上の危険を及ぼします。農業委員会では定期的に農地のパトロールを実施しております。一度荒廃させてしまうと、良好な農地に戻すことは大変ですので、周囲の農地に迷惑をかけないよう適切に管理しましょう。自分で耕作できない、農地を使ってくれる人も見つからない、という場合には、農業委員会にご相談ください。

**⚠**  
**農薬の適正な使用を！**

農薬の残留基準値の見直しが行われます。これにより、農薬の使用方法が変更される可能性がありますので、農薬の使用にあたっては、ラベルだけでなく最新の情報に十分注意してください。基準以上の残留農薬が検出され、出荷停止になると、当事者に限らずその地域の農産物も風評被害をこうむる恐れがあります。また、周辺への飛散防止対策や農薬の使用状況は記録しておきましょう。



## 八潮市都市農業振興事業 補助金制度について

### ●補助対象者(共通)

八潮市農業委員会が作成する農地基本台帳に売上額の記載のある農家の農業従事者、又は法人の経営主

### 農業用機械、農業用冷蔵庫の購入費、温室、ビニールハウスの事業費の一部を助成します。

#### ●補助内容

##### ○温室、ビニールハウスの新設の助成の要件(1施設当たり)

事業費 100 万円以上、面積 100 m<sup>2</sup>以上  
補助金の限度額 一般農業者 40 万円以内、認定農業者 50 万円以内  
(10 年以内に新設、建替で当該補助の交付を受けた施設の建替は対象外)



##### ○温室、ビニールハウスの張替等の助成の要件

事業費 総額 10 万円以上(5 年以内に張替等で当該補助の交付を受けた施設は対象外)  
補助金の限度額 一般農業者 10 万円以内、認定農業者 12 万円以内

##### ○農業用機械、農業用冷蔵庫の助成の要件 事業費が 30 万円以上

補助金の限度額 一般農業者 30 万円以内、認定農業者 40 万円以内

##### ○補助率 一般農業者 1/5 以内、認定農業者 1/4 以内

##### ○災害による保険金を差し引いた金額が対象事業費となります。

##### ○国、地方自治体等の補助金交付事業は、対象外となります。



### 八潮市産野菜をPRする農業用包装資材費の一部を助成します。

#### ●補助内容

##### ○農業用包装資材の助成要件

事業費 2 万円以上  
補助率 1/2 以内

##### ○補助金の限度額

一般農業者 2 万円以内  
認定農業者 3 万円以内



## ◆ 旧潮止揚水機場について ◆

### ◆施設の果たした役割

旧潮止揚水機場は、二丁目地内の中川旧堤防沿いに位置し、潮止耕地整理事業の一環として昭和4年に建てられた施設です。当時の村長田中四一郎氏が村民と一体となって構築し、揚水機場の稼働により水田の水不足は解消され、**土地改良事業などと併せて農業生産力の向上に大きく寄与した施設で、現在の南部地区の農業の礎になった**と言われています。

また、平成18年には、ポンプとモーターを市登録有形文化財としています。

### ◆施設の現況

施設は、平成12年の「潮止土地改良区」の解散に伴い市に移管されましたが、南部地区の開発により水田が減少したことから、平成14年には中川からの取水は停止しました。新堤防の築造に伴い平成21年には、**中川から取水する権利を放棄**し、現在は老朽化が進み立入禁止となっています。

また、中川からの流入路は、安全のために埋め立てられ、現堤防下の樋管は、河川法の占用許可条件上、「**目的を終えた後はすみやかに撤去し、堤防を原形に復旧すること**」とされていますが、文化財的価値も評価されていることから、樋管内部を充填して残すことができないか、国土交通省と協議を重ねています。



旧用水路・  
建屋(西側)

### ◆これまでの検討結果

文化財としての価値も高いと評価されていることも踏まえ、市では、施設の今後の在り方について検討委員会を設置し、施設の果たした役割や功績を伝えていくことも主眼として、長年にわたり協議を重ねてきました。

これまで、①国登録文化財に登録し建屋を修復して公開②建屋を撤去し憩いの場として施設を整備③建屋を撤去し更地の3つの考え方を主題に検討をしました。

関係団体などからの意見を伺いながら検討を進めてきましたが、有効な活用方策が見出せないこと、将来にわたり持続可能な運営・維持管理体制の構築が必要なこと、多額の修復費用がかかることなどから、地域の安全性を優先して建屋は撤去し、過去の功績を広く永く後世に伝えていくよう、メモリアル機能を有すポケットパークなどとして整備していくこととしました。なお、建屋の撤去費用については、平成28年度予算に計上しています。

### ◆今後の方針について

しかしながら、平成28年2月に市民活動団体より、同揚水機場の取り壊し中止を求める要望書が提出され、また7月には、保存と活用にに向けた提案書が2000人を超える署名とともに提出されました。市では、その提案内容を市民の皆さんにも知っていただくため、8月4日に資料館で説明会を開催しました。

その後、説明会に参加した関係諸団体の方々の意見を確認するとともに、庁内で提案の考え方や実効性などについて検証を行った結果、その提案を実現するには問題があると判断しました。このことから、**旧潮止揚水機場は、当初の計画どおり建屋を撤去し、メモリアル機能を有したポケットパーク「史跡公園」をイメージした整備を進めていく方針とし、永く後世にも伝えていくものです。**



**【八潮市の農産物の放射能濃度測定結果】**

平成24年3月～平成28年8月

品目番号	品目	測定回数	品目番号	品目	測定回数	品目番号	品目	測定回数
1	あさつき	1	18	米	1	35	菜の花	2
2	あゆたで	2	19	さつまいも	2	36	ねぎ	31
3	いんげん	1	20	サニーレタス	1	37	白菜	7
4	うり	2	21	山東菜	2	38	はぐらうり	1
5	枝豆	15	22	しいたけ	1	39	姫とうがん	1
6	おくら	1	23	じゃがいも	4	40	びわ	1
7	柿	5	24	ジャンボレモン	1	41	ふき	3
8	カブ	5	25	春菊	2	42	ぶどう	2
9	かぼちゃ	4	26	白瓜	1	43	ブロッコリー	13
10	からし菜	2	27	スナップえんどう	2	44	米なす	1
11	カリフラワー	7	28	大根	25	45	パプリカ	1
12	キウイ	1	29	たけのこ	3	46	ほうれん草	20
13	キャベツ	6	30	玉ねぎ	5	47	ほおづき	1
14	きゅうり	25	31	とうがん	11	48	みかん	1
15	ゴーヤ	2	32	とうもろこし	1	49	ミニトマト	5
16	小カブ	1	33	トマト	9	50	芽カブ	1
17	小松菜	158	34	なす	13	51	ラディッシュ	1

計 414回

**【埼玉県の農産物の放射能濃度測定結果】**

平成23年4月～平成28年8月

品目番号	品目	測定回数	品目番号	品目	測定回数	品目番号	品目	測定回数
1	稲わら	1	7	さといも	1	13	みずな	1
2	カブ	1	8	山東菜	4	14	もみがら	1
3	カリフラワー	1	9	大根	3	15	枝豆	2
4	小松菜	26	10	なす	3	16	ねぎ	1
5	米	5	11	ブロッコリー	4	17	田畑土壌	9
6	米(玄米)	1	12	ほうれん草	3			

計67回

\*測定結果は、県及び市のホームページで公開していますのでご覧ください。(測定の結果、全て基準値内です)

●放射性セシウム基準値(単位:ベクレル/kg)

- ・飲料水 10
- ・牛乳 50
- ・一般食品 100 農産物
- ・乳児用食品 50
- ・土壌資材等 1000

●八潮市農産物分析器

- ・検査機器: NaI(Tl)シンチレーションスペクトロメータ  
EMF211型ガンマ線スペクトロメータ
- ・測定量: 500cc
- ・測定時間: 900秒



**農業用機械  
の盗難にご  
注意を!**

**全国で農業機械の盗難が多数発生しています。盗難被害を防ぐために対策を徹底しましょう。**

- ・農業機械にエンジンをさしたまま放置しない
- ・住居から離れた場所に放置せず、使用後は格納庫に戻し、機械・施設ともに施錠し、鍵も厳重に保管
- ・農業機械にハンドルロック等の盗難防止用品を装置、格納庫にも防犯灯等を設置する
- ・格納庫のシャッター前、敷地の出入り口等、想定される通路にトラック等の障害物を置く など

## ふれあい農園 経営者募集



市民が土とふれあいながら農業に対する理解や農業者との相互交流等を図るため、農業者が設置する農園です。開設を希望する農地所有者の方に対し、農園整備費の一部を市が補助します。

### ●補助要件

- 面積 (1農園あたり、概ね10a以上)
- 区画 (15㎡以上(3x5m))
- 期間 (5年間は設置後継続)
- 付帯設備 (トイレ・手洗い・物置・棚など)
- 補助 (事業費の1/2以内で、限度額は75万円)

## ガーデンコミュニティ制度 参加者募集



八潮市みんなで作る美しいまちづくり条例に基づき、ガーデンコミュニティ制度を利用する農地所有者と市民などの協働により、農地の利活用を図るものです。

### ●条件

耕作などの協力を受ける(体験農園・援農者)を希望する農地所有者は、市に登録し、援農などの協力者も市に登録し、お互いに協定が締結されれば本助成の対象になります。(但し、3年間です。)

- |                    |          |
|--------------------|----------|
| 1. 500㎡以上、1,000㎡未満 | 50,000円  |
| 2. 1,000㎡以上        | 100,000円 |

## 街なかやすらぎ緑空間創出事業 募集



市街化区域内の一定の農地で、景観や防災空間として多面的機能を生かした農地の保全を目的としています。

設置の際、予算の範囲に限度額内で補助金を交付しております。

## 八潮市鉢の会 入会者募集

緑化の推進及び鉢物の技術向上、交流・振興を目的に昭和47年に農家の鉢物愛好家で発足し、春にはさつき、秋には菊・盆栽、切花など、メセナの展示室で展示会を催しています。

現在は農家の方の鉢物愛好家は減ってしまいました。

農家の皆様で興味のある方は、是非入会をお待ちしております。



## 認定農業者になりませんか？

### ◆認定農業者とは…

農業経営基盤強化促進法に基づき、市が地域の実情に応じて効率的・安定的な農業経営の目標等を示した「基本構想」を作成します。

基本構想の目標を目指して、今後5年間の「農業経営改善計画」を作成し、市町村から認定された経営体(個人または法人)のことをいいます。

### ◆認定農業者になるには…

#### 農業経営改善計画の作成

農業者自らが、5年後の目標とその達成のための取り組み内容を記載します。

市へ申請

#### 市が認定

(認定基準)

- ・市の基本構想に適合しているか
- ・農用地の効率的・総合的な利用に配慮しているか
- ・達成できる計画か



### ◆認定農業者の要件は…

◎性別・年齢  
要件、制限なし

◎専業・兼業  
問いません

◎経営規模・所得  
一定の収入が得られる農業経営を目指す場合は対象

◎営農類型  
米等の土地利用型農業、野菜等の施設園芸等

◎法人経営  
農業経営を営む法人すべて

### ◆認定農業者になるメリットは…

- ・意欲ある農業経営者として地域からの信頼が得られます。
- ・認定農業者でなければ受けられない支援制度があるのをはじめ、各種支援が受けられます。

◆八潮市の認定農業者数は… 平成28年4月1日現在 33人





☆農家戸数及び農地に関する申告状況一覧表

平成28年8月1日現在

(単位:㎡)

地区名	農家戸数 (10アール以上戸数)	農地(10アール以上)						合計
		市内(市街化区域)		市内(調整区域)		市外等		
		田	畑	田	畑	田	畑	
八条	137戸	1,811	20,924	286,955	261,591	105,932	5,945	683,158
潮止	191戸	10,593	349,825	8,059	217,911	172,912	28,860	788,160
八幡	72戸	8,414	154,819	5,986	3,052	134,315	15,646	322,232
計	400戸	20,818	525,568	301,000	482,554	413,159	50,451	1,793,550

☆市内全農地面積

平成28年8月1日現在

市内(市街化区域)①(単位:㎡)		市内(調整区域)②(単位:㎡)		生産緑地③	②+③	合計
田	畑	田	畑	(単位:ha)	(単位:ha)	①+②
28,354	594,728	322,476	603,519	29.72	122.32	1,549,077

☆農家戸数と耕作面積の推移

年度	農家戸数 (単位:件)				耕作面積(市外含む) (単位:㎡)			
	八条	潮止	八幡	合計	八条	潮止	八幡	合計
平成24年	142	206	76	424	697,910	976,091	358,003	2,032,004
平成25年	140	205	72	417	710,006	960,998	354,313	2,025,317
平成26年	138	198	71	407	706,663	923,911	347,400	1,977,974
平成27年	136	194	71	401	709,460	868,070	351,649	1,929,179
平成28年	137	191	72	400	683,158	788,160	322,231	1,793,549

☆農地法による農地転用状況

(平成27年1月~12月処理)

農地法	許可(市)	許可(県)		届出受理			通知
	第3条	第4条	第5条	第3条	第4条	第5条	第18条
件数 (単位:件)	4	1	11	2	37	133	0
面積 (単位:㎡)	9,158	495	7,554	4,115	21,903.41	67,645.75	0

1. 農業者年金は長い老後を安心して暮らせるための公的年金です。
2. 積立方式の長期的に安心した年金制度です。
3. 農業に従事する人が広く加入できます。
4. 意欲ある担い手に保険料助成します。
5. 80歳まで保証がついた終身年金です。
6. 保険料が自由に選択できます。(月額2万円が基本)



農業者年金の詳細は、農業者年金基金のホームページをご覧ください！

<http://www.nounen.go.jp>

発行日: 月4回毎週金曜日  
購読料: 1ヶ月700円(税込)  
申込: 農業委員会事務局まで

全国農業新聞

経営とくらしに  
役立つ農業総合  
専門紙です。

都市農業課、農業委員会のホームページをご利用ください！

各種申請様式等がダウンロードできます。 <http://www.city.yashio.lg.jp>

ホーム>行政組織別検索>市民活力推進部>都市農業課、ホーム>行政組織別検索>農業委員会

検索!

